

# SL-D550

# ユーザーズガイド (抜粋版)

本書は、基本の操作とメンテナンスの方法を説明しています。

## 商標

EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Apple, Mac, macOS, OS X, Bonjour, Safari, AirPrint, iPad, iPhone, iPod touch, iBeacon, iTunes, ColorSync は米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。"iPhone" の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

Microsoft, Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe, Photoshop, Photoshop Elements, Photoshop Lightroom, Acrobat, Reader は Adobe (アドビ) の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

Firefox は米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標です。

Google Chrome, Chromebook, Android, Google Play は Google LLC の商標です。

Mopria<sup>®</sup>, Mopria<sup>®</sup> ロゴは、Mopria Alliance, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標かつサービスマークです。許可無く使用することは固く禁じられております。

AOSS<sup>™</sup> は株式会社バッファローの商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

## インクボトルは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクボトルを使用することをお勧めします。指定外のインクを使用すると、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できないことがあります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。指定外のインクの使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

# もくじ

<b>マニュアルの見方 .....</b>	<b>4</b>
マークの意味 .....	4
安全に関するマーク ....	4
一般情報に関する表示 ....	4
掲載画面 .....	4
掲載イラスト .....	4
マニュアルの構成 .....	4
PDF マニュアルの見方 .....	5
<hr/>	
<b>ご使用の前に .....</b>	<b>6</b>
各部の名称と働き .....	6
前面 ....	6
内部 ....	7
背面 ....	8
操作パネル ....	9
画面の見方と操作 .....	10
ホーム画面 ....	10
文字入力画面 ....	11
<hr/>	
<b>基本の操作 .....</b>	<b>12</b>
用紙のセット .....	12
準備するもの ....	12
用紙のセット方法 ....	12
<hr/>	
<b>メンテナンス .....</b>	<b>15</b>
メンテナンス項目一覧 .....	15
使用済み消耗品の処分 .....	15
メンテナンスボックスの回収 ....	15
インクの補充 .....	16
作業時のご注意 ....	16
インクの補充方法 ....	16
プリントヘッドのノズルチェック .....	18
ノズルチェックの種類 ....	18
ノズルチェックパターンの印刷方法 ....	19
プリントヘッドのクリーニング .....	20
クリーニングの種類 ....	20
プリントヘッドのクリーニング（通常クリーニング） ....	20

強力ヘッドクリーニング .... 21



<b>付録 .....</b>	<b>22</b>
消耗品とオプション .....	22
使用可能な用紙 .....	22
エプソン製専用紙 ....	22
市販のハガキ（日本郵便株式会社製） ....	23
その他の市販用紙 ....	23
システム条件 .....	24
プリンタードライバー ....	24
メンテナンスツール ....	24
Web Config ....	25
仕様一覧 .....	26
必要スペース ....	28
サービス・サポートのご案内 .....	29
エプソンサービスパック ....	29
保守サービスのご案内 ....	29
保守サービスの種類 ....	29
お問い合わせ先 .....	31
製品に関する諸注意 .....	32
オープンソースソフトウェアのライセンス契約について .....	34

# マニュアルの見方




## マークの意味

### 安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

### 一般情報に関する表示

 <b>重要</b>	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
 <b>参考</b>	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連した内容の参照ページを示しています。
<b>【設定値】</b>	コンピューターの画面に表示される文字列は [ ] で囲んで示します。
<b>【OK】 ボタン</b>	操作パネルのボタン名称を示しています。

## 掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なることがあります。また、OSの違いや使用環境によっても異なる画面となることがありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 10 の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac の画面は、特に指定がない限り macOS Monterey の画面を使用しています。

## 掲載イラスト

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なる場合がございます。ご了承ください。

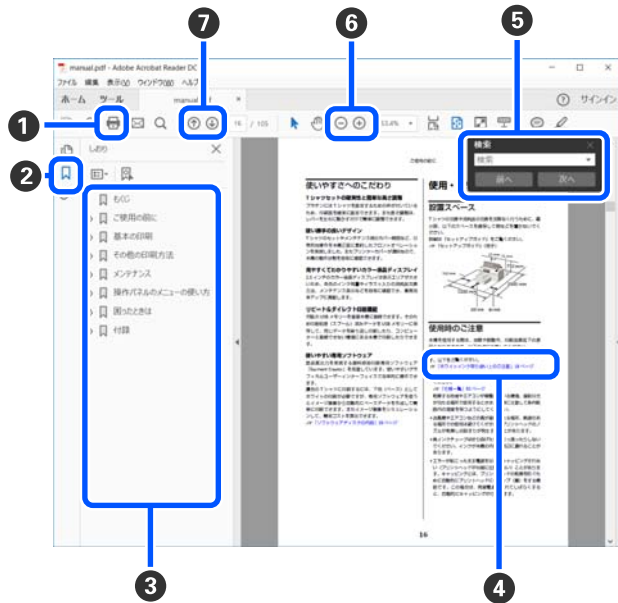
## マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、以下の構成で提供しています。PDF マニュアルは、Adobe Acrobat Reader やプレビュー (Mac) などでご覧ください。

セットアップガイド	本機を箱から取り出した以降から、本機を使用可能にするまでの作業を説明しています。
安全上のご注意	お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたいことを説明しています。製品を安全に正しくお使いいただくために、必ずご覧ください。
ユーザーズガイド (抜粋版) (本書)	日常使用するうえで必要な、基本の操作とメンテナンスの方法を説明しています。
オンラインマニュアル	
ユーザーズガイド (PDF)	本機の操作方法や日常お使いいただく上で必要な事項、メンテナンス作業、困ったときの対処方法など本機の使用方全般を説明しています。
システム管理者ガイド (PDF)	システム管理者向けに管理の仕方やプリンターの設定方法を説明しています。

# PDF マニュアルの見方

Adobe Acrobat Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Acrobat Reader DC で表示したときを例に説明します。



- ① PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- ② クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。
- ③ タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。  
[+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。
- ④ 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。  
元のページに戻るときは、以下のように行います。  
**Windows の場合**  
Alt キーを押したまま ← キーを押します。  
**Mac の場合**  
command キーを押したまま ← キーを押します。
- ⑤ 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。  
**Windows の場合**  
PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。  
**Mac の場合**  
[編集] メニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- ⑥ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは ⊕ をクリックすると拡大します。⊖ をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

**Windows の場合**

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [マーカーズーム] を選択します。ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

**Mac の場合**

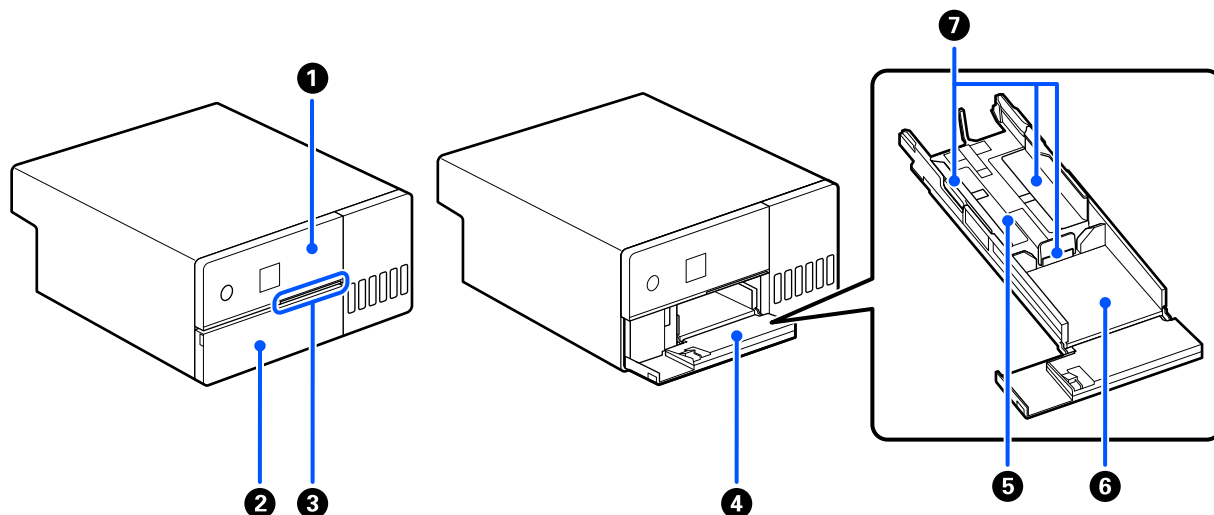
[表示] メニュー - [ズーム] - [マーカーズーム] の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

- ⑦ 前ページ/次ページを表示します。

# ご使用前に

## 各部の名称と働き

### 前面



**① 操作パネル**

📖 「操作パネル」 9 ページ

**② 前面カバー**

用紙セット時や印刷時に開けます。印刷を開始すると自動で開きます。

**③ 状態表示ランプ**

点灯 : エラーが発生しています。  
エラーの内容は、画面で確認してください。

消灯 : 正常な状態です。

**④ 用紙カセット**

用紙セット時に引き出します。

**⑤ 給紙エリア**

用紙をセットします。

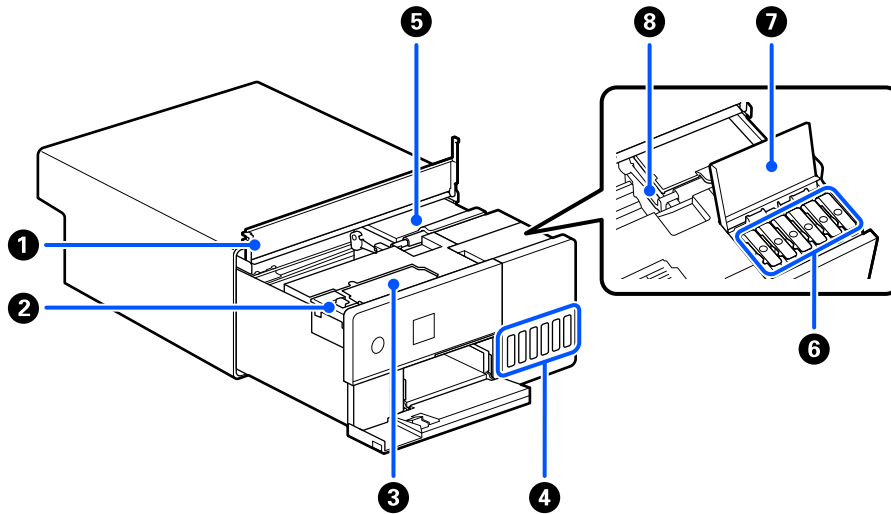
**⑥ 排紙エリア**

印刷された用紙を保持します。

**⑦ エッジガイド**

用紙セット時に用紙のエッジに合わせます。

## 内部



### ① 内部カバー

用紙詰まりやメンテナンス作業時に開けます。

### ② メンテナンスボックスカバー

メンテナンスボックスを交換するときに開けます。

### ③ メンテナンスボックス

インクの廃液をためるための容器です。

交換方法は『オンラインマニュアル』から『ユーザーズガイド』をご覧ください。

### ④ インクタンク

プリントヘッドにインクを供給します。

### ⑤ プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。プリントヘッドは無理に手で動かさないでください。故障の原因になります。

### ⑥ インクタンクキャップ

インクタンクにインクを補充するときに開けます。

### ⑦ インクタンクカバー

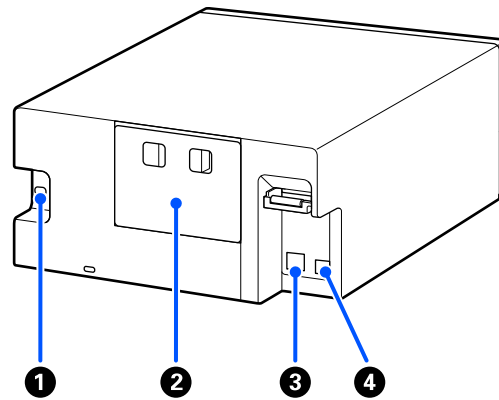
インクタンクにインクを補充するときに開けます。

### ⑧ 輸送用ロック

移動や輸送をするときに、インクが漏れないように、輸送位置にセットします。通常は印刷位置にセットされています。

移動や輸送時の詳細は『オンラインマニュアル』から『ユーザーズガイド』をご覧ください。

## 背面



**① 電源コネクター**

電源コードを接続します。

**② 背面ユニット**

用紙詰まりやメンテナンス作業時に取り外します。

背面ユニットを取り外すと、プリントヘッドが見える位置までプリンターの内部を引き出すことができます。

**③ LAN ポート**

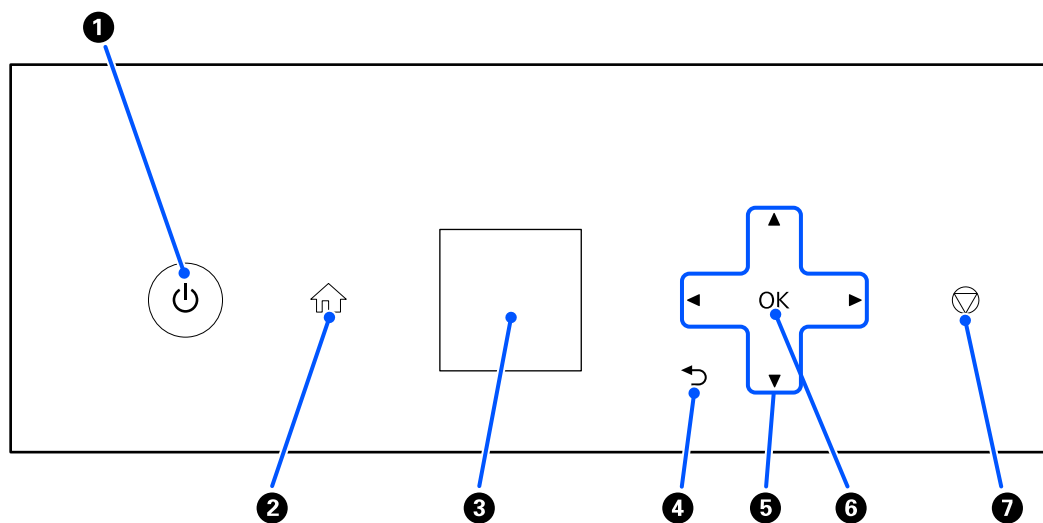
LAN ケーブルを接続します。

**④ USB ポート**

USB ケーブルを接続します。



## 操作パネル



**① 【⏻】 ボタン（電源ボタン）、⏻ランプ（電源ランプ）**

通常は ON（ランプ点灯）の状態で使用します。緊急時や、長期間使用しないときなどは OFF（ランプ消灯）にします。

動作中はランプが点滅します。

**② 【🏠】 ボタン（ホームボタン）**

設定メニュー表示中などに押すと、ホーム画面に戻ります。

**③ 画面**

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。

**④ 【↶】 ボタン（戻るボタン）**

設定メニュー表示中にひとつ上の階層に戻るときに押します。

**⑤ 【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタン（選択ボタン）**

設定メニューで項目の選択や文字を入力するときを押します。

**⑥ 【OK】 ボタン**

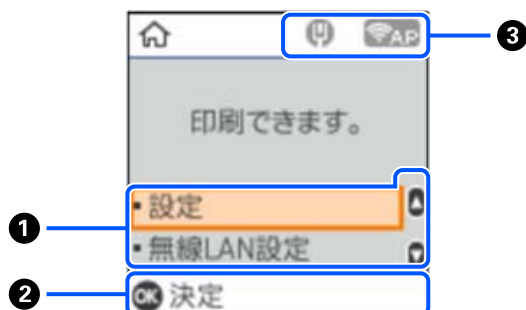
選択や入力を確定するときや、機能を実行するときを押します。

**⑦ 【⏹】 ボタン（ストップボタン）**

動作を中止するときを押します。

# 画面の見方と操作

## ホーム画面



### ① 設定メニュー

本機の設定やメンテナンス機能の実行を行います。

【▲】 / 【▼】 ボタンで項目を選び、【OK】 ボタンを押して次画面に進んでください。

項目の詳細は『オンラインマニュアル』から『ユーザーズガイド』をご覧ください。

### ② 操作ボタンガイド

操作できるボタンがアイコン表示されます。この例では、【OK】 ボタンで選択したメニューに進むことを示しています。

### ③ ネットワーク情報

ネットワークの接続状態をアイコンで表示します。



： 有線 LAN 非接続、ネットワーク未設定



： 有線 LAN 接続中



： 無線 LAN (Wi-Fi) 無効、または接続処理中



： 無線 LAN (Wi-Fi) 接続に問題がある、または検索中



： 無線 LAN (Wi-Fi) 接続中

線の本数は電波の状態を示します。線の本数が多いほど、電波の状態は良好です。



： Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続無効



： Wi-Fi Direct (シンプル AP) 接続有効

## 文字入力画面

ネットワーク設定時の数字や文字、記号の入力は、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンと画面に表示されるキーボードを使います。【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで入力したい文字やファンクションキーを選択して、【OK】 ボタンを押します。入力が全て終わったら【OK】 を選択して、【OK】 ボタンで決定します。



- ◀▶ : 左右に1文字分、カーソルを移動します。
- A 1 # : 入力文字種を切り替えます。英数字や記号を入力できます。
- ␣ : スペースを入力します。
- ✖ : 左側に1文字ずつ削除します (バックスペース)。
- OK : 入力した文字を確定します。

# 基本の操作

## 用紙のセット

### 準備するもの

以下のものを準備します。

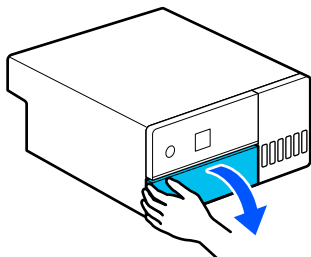
- 新しくセットする用紙
- 手袋  
用紙が汚れないように、用紙を扱うときに着用します。

### 用紙のセット方法

**参考**

本機で使用できる用紙の詳細は、以下をご覧ください。  
📄 [「使用可能な用紙」22 ページ](#)

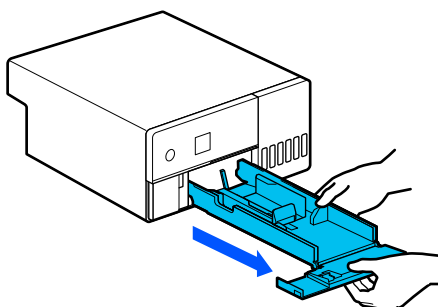
**1** 前面カバーを開けます。



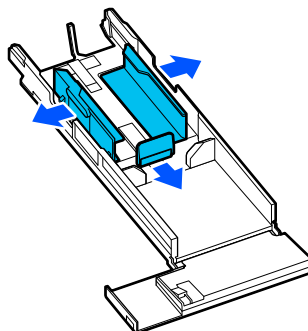
**2** 用紙カセットを引き抜きます。

**！重要**

用紙カセットは両手で引き抜いてください。片手で作業をすると、用紙カセットを引き抜いたときに重さで用紙カセットが落下し破損するおそれがあります。

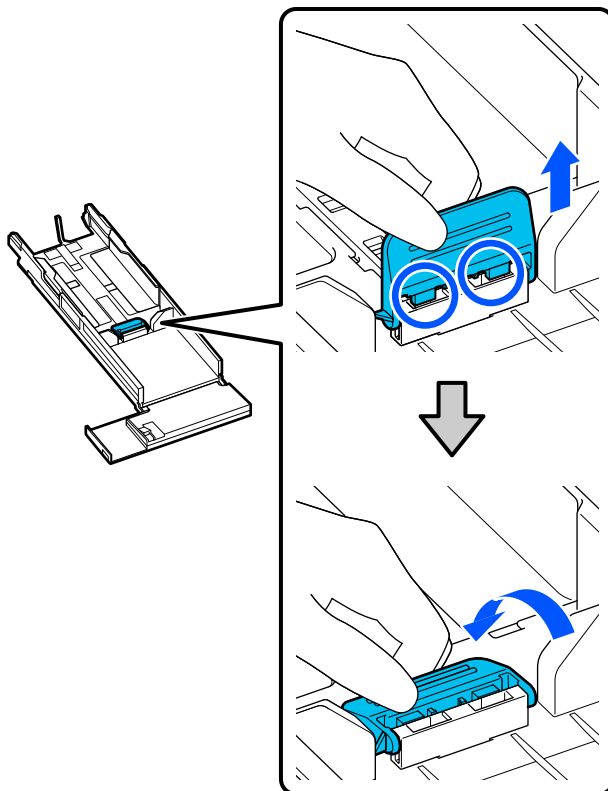


**3** 左右と手前のエッジガイドをいっぱいまで広げます。



**4** 手前のエッジガイドを倒します。

図のように2箇所のツメが見える位置まで上に引っ張ると倒せます。

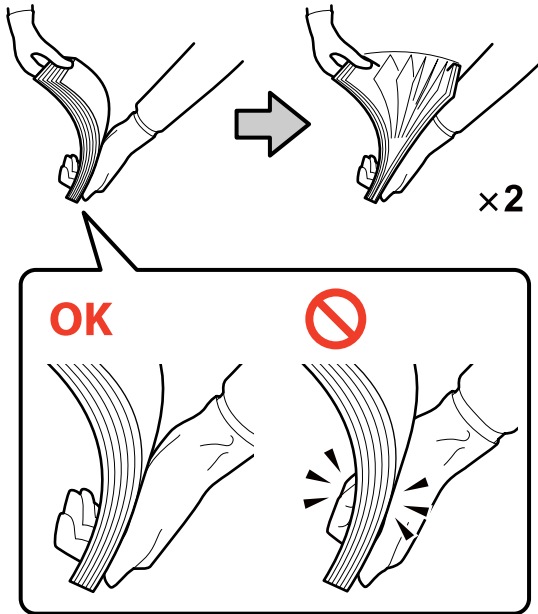


**5** セットする用紙をさばきます。

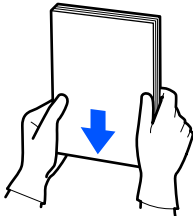
用紙の束は、静電気などにより用紙同士が密着していることがあります。このままセットすると給紙不良が発生するおそれがあるため、以下の手順に従って用紙をさばいてください。用紙をさばくことにより用紙間に空気を入れて、密着をほぐすことができます。

さばくのは用紙の短辺に対して2回ずつ行います。

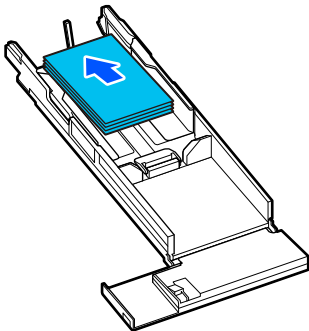
- ① 用紙の短辺を図のように2回さばきます。  
用紙は強くつかまずに軽く持ってください。  
強くつかむと用紙端まで空気が入らず密着が  
ほぐれないときがあります。



- ② もう一方の短辺を同様に2回さばきます。  
③ 用紙の上下左右の端をそろえます。



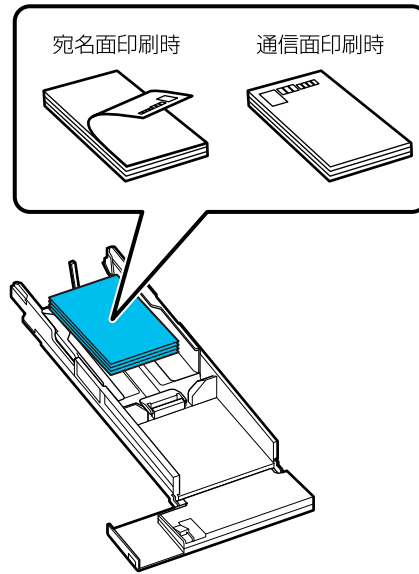
- 6** 印刷する面を下にして、用紙をセットします。  
用紙カセット奥の突起に突き当たるように用紙を  
セットします。  
セットできる用紙の枚数は最大100枚です。



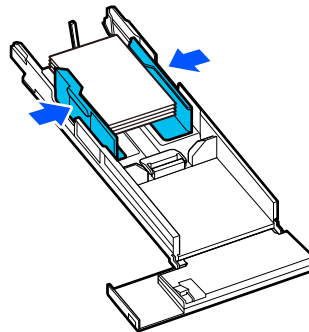
**参考**

エプソン製専用紙の自動両面印刷対応用紙は、包装紙の  
開封面側を下にしてセットします。

ハガキは下図の方向にセットしてください。

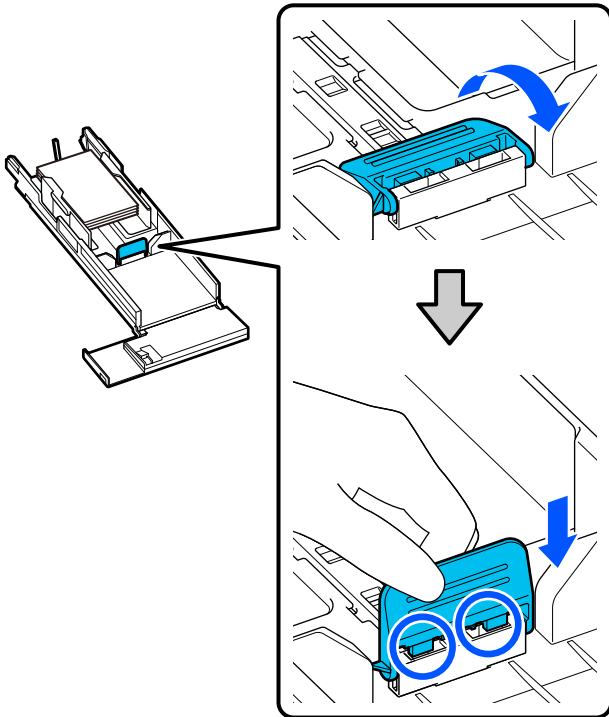


- 7** 左右のエッジガイドを用紙に合わせます。  
エッジガイドと用紙の間に隙間があると、印刷時に  
用紙が斜行するおそれがあるため、しっかりと合わ  
せてください。



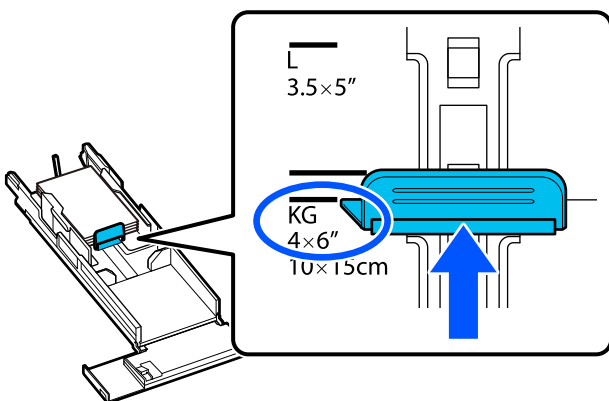
**8** 手前のエッジガイドを起こします。

図のように2箇所のツメをカチッと音がするまで差し込みます。

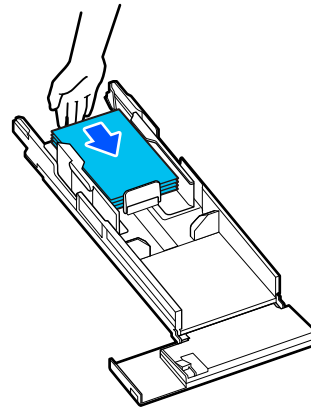


**9** 手前のエッジガイドをセットする用紙サイズの位置に合わせます。

下の図は KG サイズに合わせた例です。



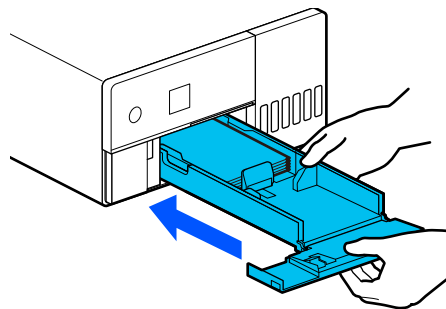
**10** 手前のエッジガイドに当たるまで用紙を寄せます。



**11** 用紙カセットを差し込みます。

**!重要**

用紙カセットは両手で差し込んでください。片手で作業をすると、セットした用紙の重さで用紙カセットが落下し破損するおそれがあります。



**12** 操作パネルの画面で用紙サイズと用紙種類を設定します。

画面に表示された用紙種類とセットした用紙の用紙種類が一致しているときは、[閉じる] が選択されていることを確認して【OK】ボタンを押します。



用紙種類が異なっているときは、[変更] を選択して用紙種類を変更します。

# メンテナンス

## メンテナンス項目一覧

以下の表を参考にしてメンテナンスを実施してください。

作業内容	実施時期	参照
インクの補充	操作パネルの画面に残量の警告が表示されたとき	<a href="#">☞ 「インクの補充」 16 ページ</a>
メンテナンスボックスの交換	操作パネルの画面に交換を促すメッセージが表示されたとき	<a href="#">☞ 「ユーザーズガイド」</a>
プラテンの清掃	印刷した用紙の裏側が汚れるとき	<a href="#">☞ 「ユーザーズガイド」</a>
給紙ローラーキットの清掃	繰り返し給紙不良が発生するとき	<a href="#">☞ 「ユーザーズガイド」</a>
給紙ローラーキットの交換	給紙ローラーキットの清掃を適切に実施しても繰り返し給紙不良が発生するとき	<a href="#">☞ 「ユーザーズガイド」</a>
プリントヘッドのノズルチェック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノズルが目詰まりしているか確認したいとき</li> <li>目詰まりしている色を確認したいとき</li> <li>水平方向のスジ/濃淡ムラ（バンディング）が見られるとき</li> </ul>	<a href="#">☞ 「プリントヘッドのノズルチェック」 18 ページ</a>
プリントヘッドのヘッドクリーニング	ノズルの目詰まりが確認されたとき	<a href="#">☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 20 ページ</a>

本機には上記の他にメンテナンスツールから実行するメンテナンス機能があります。詳細は以下をご覧ください。  
[☞ 「ユーザーズガイド」](#)

## 使用済み消耗品の処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収  
使用済みのメンテナンスボックスは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
- 廃棄  
産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時に製品安全性データシート（MSDS）を産業廃棄物処理業者に提出してください。  
製品安全データシート（MSDS）は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）からダウンロードできます。

## メンテナンスボックスの回収

使用済みメンテナンスボックスは、「引取回収サービス」をご利用ください。  
 詳しくはエプソンのウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.epson.jp/inkrecycle/>

# インクの補充

## 作業時のご注意

作業を行う前にインクボトルの取り扱いに関する注意事項を必ずお読みください。

📖 『ユーザーズガイド』

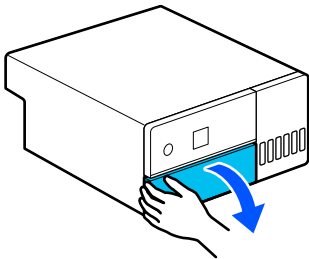
### ！重要

- プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクボトルを使用することをお勧めします。
- 少量のインク補充を繰り返さないでください。プリンターが故障するおそれがあります。
- キャップを外したボトルの先端をぶつけないでください。インクが漏れることがあります。
- ボトルを強く握らないでください。インクが漏れる可能性があります。
- ボトルをインクタンクに挿したままにしないでください。ボトルの破損やインク漏れの原因になることがあります。

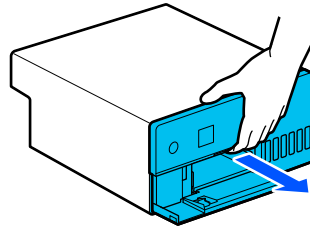
## インクの補充方法

- 1** 電源ランプが点灯していることを確認します。  
電源ランプ点滅中は、本機が動作中です。動作が止まるまでお待ちください。

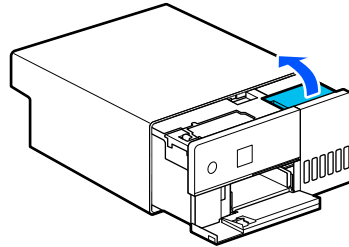
- 2** 前面カバーを開けます。



- 3** 図の位置に手を掛けて、止まる位置までプリンターの内部を引き出します。



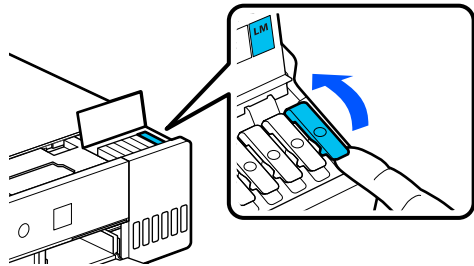
- 4** インクタンクカバーを開けます。  
画面に表示されるインク注入時のご注意を読んで、次の画面に進みます。



- 5** 補充する色のインクタンクキャップを開けます。

### ！重要

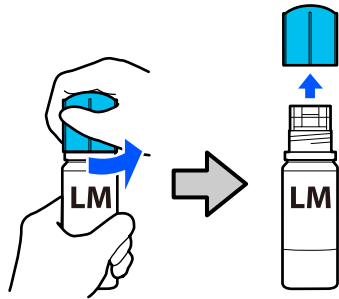
インクタンクの色と補充したいインクの色が合っていることを確認してください。





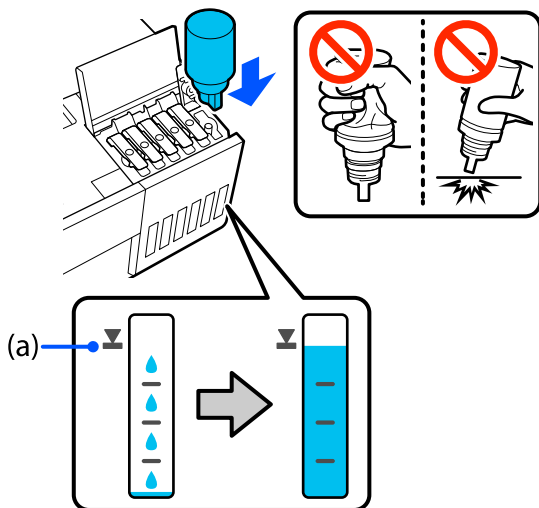
- 6** インクボトルをまっすぐに立てた状態で、キャップをゆっくり回して取り外します。

インクをこぼさないように注意してください。



- 7** インクの注入口に合わせてボトルを挿し、インクが上限線 (a) で自動で止まるまで待ちます。

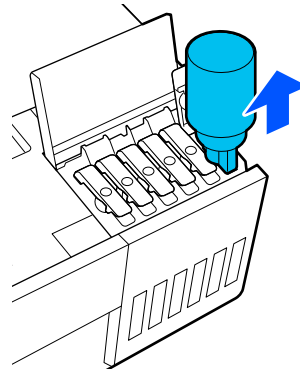
正しい色の注入口にボトルを挿すと、インクは自動で注入を開始して上限線の位置で止まります。注入が始まらないときは、ボトルを挿し直してください。



**!重要**

上限線までインクが入った状態で、ボトルを抜き挿ししないでください。インクが漏れるおそれがあります。

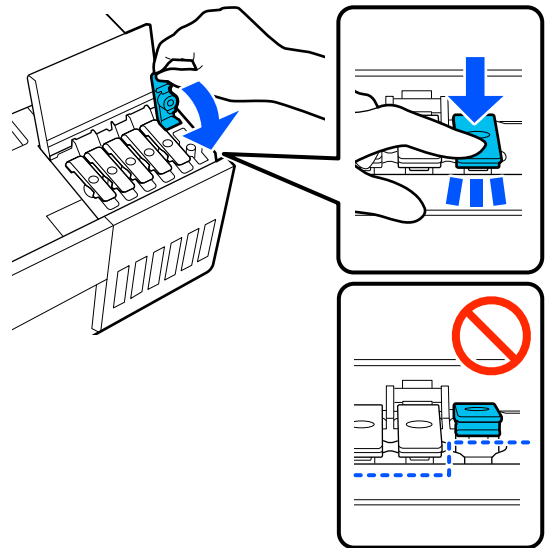
- 8** インクの注入が完了したらボトルを抜いて、インクボトルのキャップを確実に締めます。



**参考**

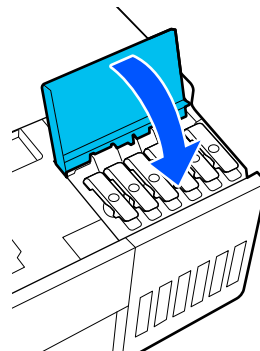
インクが残った場合は、ボトルのキャップを締めてまっすぐ立てて保管してください。

- 9** インクタンクキャップを確実に閉めます。

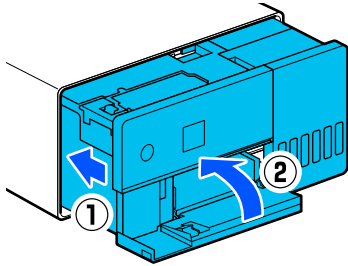


別の色のインクも補充するときは、手順 5~9 を行います。

- 10** インクタンクカバーをしっかりと閉めます。



- 11 プリンターの内部を元の位置に戻して、前面カバーを閉めます。



- 12 画面の指示に従って、インクを注入した色のインク残量を更新します。

**！重要**

インク補充後は、必ずインク残量を更新してください。  
 2色以上のインクを補充したときは、補充した色を全て選択してインク残量情報を更新してください。  
 インク残量情報を更新しないと、インクを補充してもインク残量表示は変わりません。

## プリントヘッドのノズルチェック

印刷結果にスジが入ったりかすれたり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりするときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ここでは、プリントヘッドのノズルチェックの方法を説明します。

### ノズルチェックの種類

プリントヘッドのノズルの状態を確認するには、以下の3通りの方法があります。

#### 自動でノズルの状態を確認する

本機には、設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でノズルのクリーニングを行ったり、目詰まりしているノズルを正常なノズルで補充して印刷したりする自動ノズルチェック機能があります。そのため、通常は手動でノズルチェックを実行する必要はありません。  
 自動ノズルチェックの設定（タイミングの変更や機能を無効にするなど）はメンテナンスツールから行います。メンテナンスツールの詳細は『オンラインマニュアル』から『ユーザーズガイド』をご覧ください。

**！重要**

ノズルの状態を確認するときに、セットした用紙にチェックパターンを印刷してノズルの状態を自動で確認するため、チェック時に用紙を1枚使用します。  
 また、チェックパターンを印刷した用紙が、印刷結果に混ざる可能性があります。

#### 手動でノズルの状態を確認する

自動ノズルチェック機能を無効にしているときや本機をしばらく使わなかったとき、または大切な印刷物を印刷する前などに、メンテナンスツールでノズルチェックを実行してノズルの状態を確認します。ノズルチェックを実行すると、本機が自動でノズルの目詰まりを検出します。チェック結果に応じて、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。  
 メンテナンスツールの詳細は『オンラインマニュアル』から『ユーザーズガイド』をご覧ください。

#### 任意にチェックパターンを印刷する

印刷したノズルチェックパターンを目で見てノズルの状態を確認したいときや、プリントヘッドのクリーニング後にノズルの目詰まりが解消されたかを確認したいときにノズルチェックパターンを印刷します。

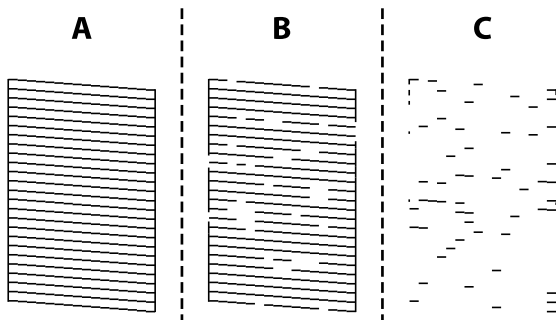
本機からチェックパターンを印刷する方法は、次項をご覧ください。

**参考**

ノズルチェックパターンの印刷はメンテナンスツールからも実行できます。  
メンテナンスツールの詳細は『オンラインマニュアル』から『ユーザーズガイド』をご覧ください。

## ノズルチェックパターンの印刷方法

- 1 用紙カセットに用紙をセットします。  
☞ 「用紙のセット方法」 12 ページ
- 2 ホーム画面で [設定] - [プリンターのお手入れ] を選択します。  
項目を選択するには、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで動かして、【OK】 ボタンを押してください。
- 3 [プリントヘッドのノズルチェック] を選択します。
- 4 画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。
- 5 印刷したパターンを見て、ノズルに目詰まりがあるかないかを確認します。



- Aと同じ：  
全ての線が印刷されているので、目詰まりしていません。【いいえ】を選択してください。プリントヘッドのクリーニングは不要です。

- Bに近い：  
いくつかのノズルが目詰まりしています。【はい】を選択して、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。  
クリーニングが終了すると、確認のメッセージが表示されます。手順 6 に進みます。
- Cに近い：  
ほとんどの線が欠ける、または大部分が印刷されていない場合は、ほとんどのノズルが目詰まりしています。強力ヘッドクリーニングの実行が必要です。【いいえ】を選択して以下をご覧ください。  
☞ 「強力ヘッドクリーニング」 21 ページ

- 6 ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりの状態を確認するときは、[ノズルチェック実行] を選択します。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとクリーニングを繰り返します。  
ノズルチェックパターンを印刷しないときは、[終了] を選択します。  
プリントヘッドのクリーニングを 3 回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、強力ヘッドクリーニングを実行してください。  
☞ 「強力ヘッドクリーニング」 21 ページ

# プリントヘッドのクリーニング

## クリーニングの種類

プリントヘッドのクリーニングには、以下の2通りの方法があります。

### 自動でクリーニングを実施する

自動ノズルチェック機能が有効なときは、設定したタイミングでノズルの状態を確認して、ノズルが目詰まりしているときに自動でプリントヘッドのクリーニングを行います。そのため、通常はプリントヘッドのクリーニングを手動で実行する必要はありません。

自動ノズルチェックの設定（タイミングの変更や機能を無効にするなど）はメンテナンスツールから行います。メンテナンスツールの詳細は『オンラインマニュアル』から『ユーザーズガイド』をご覧ください。

### 任意にクリーニングを実施する

ノズルチェックパターンが欠けているときや、印刷結果にスジが入ったりかすれたり、通常の色味と異なる色味で印刷されたりするときは、プリントヘッドのクリーニングを行います。プリントヘッドのクリーニングは、本機とメンテナンスツールのどちらからも行えますが、実行できる項目が下表の通り異なります。

本機のメニュー	メンテナンスツール
プリントヘッドのクリーニング	強制クリーニング-通常
強力ヘッドクリーニング	強制クリーニング-強力
-	診断クリーニング-通常
インクチューブリフレッシュ	-

以降では、本機から実施するクリーニングについて説明します。

ただし、インクチューブリフレッシュの詳細は、以下をご覧ください。

☞ 『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）  
メンテナンスツールから実施するクリーニングの詳細は、以下をご覧ください。

☞ 『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）

# プリントヘッドのクリーニング (通常クリーニング)

## 参考

インク残量が少ないとクリーニングできないことがありますので、事前にインクを補充してください。  
☞ 『インクの補充』16ページ

- 1 用紙カセットに用紙をセットします。  
☞ 『用紙のセット方法』12ページ
- 2 ホーム画面で【設定】 - 【プリンターのお手入れ】を選択します。  
項目を選択するには、【▲】 / 【▼】 / 【◀】 / 【▶】 ボタンで動かして、【OK】 ボタンを押してください。
- 3 【プリントヘッドのクリーニング】を選択します。
- 4 画面の指示に従ってプリントヘッドのクリーニングを実行します。  
クリーニングが終了すると、確認のメッセージが表示されます。
- 5 ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりの状態を確認するときは、【ノズルチェック実行】を選択します。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとクリーニングを繰り返します。

ノズルチェックパターンを印刷しないときは、【終了】を選択します。

プリントヘッドのクリーニングを3回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、強力ヘッドクリーニングを実行してください。

強力ヘッドクリーニングの詳細は、次項をご覧ください。


## 強力ヘッドクリーニング

強力ヘッドクリーニングを実行すると、以下の場合の印刷品質が改善することがあります。

- ほとんどのノズルが目詰まりしている
- プリントヘッドのクリーニングを3回実施しても目詰まりが解消されない

### 参考

強力ヘッドクリーニングは、プリントヘッドのクリーニングより多くのインクを消費します。

- 1 用紙カセットに用紙をセットします。  
 [「用紙のセット方法」12ページ](#)
- 2 ホーム画面で [設定] - [プリンターのお手入れ] を選択します。
- 3 [強力ヘッドクリーニング] を選択します。
- 4 画面の指示に従って強力ヘッドクリーニングを実行します。  
クリーニングが終了すると、確認のメッセージが表示されます。
- 5 ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりの状態を確認するときは、[ノズルチェック実行] を選択します。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されたか確認してください。  
ノズルチェックパターンを印刷しないときは、[終了] を選択します。  
強力ヘッドクリーニングを実行しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で本機を12時間以上放置してください。時間を置くことによって、目詰まりしているインクが溶解することがあります。  
それでも改善されないときは、インクチューブリフレッシュを実行してください。  
インクチューブリフレッシュの詳細は『オンラインマニュアル』から『ユーザーズガイド』をご覧ください。

# 付録

## 消耗品とオプション

本機で使用できる消耗品とオプションは以下の通りです。（2022年5月現在）  
最新の情報は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

商品名		型番	備考
インクボトル	フォトブラック	SLIC6BK	プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクボトルを使用することをお勧めします。指定外のインクを使用すると、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できないことがあります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。指定外のインクの使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。 <a href="#">🔗 「インクの補充」16ページ</a>
	シアン	SLIC6C	
	マゼンタ	SLIC6M	
	イエロー	SLIC6Y	
	ライトシアン	SLIC6LC	
	ライトマゼンタ	SLIC6LM	
メンテナンスボックス		PXMB9	メンテナンスボックスが空き容量不足になったときの交換用メンテナンスボックスです。
給紙ローラーキット		SLRK3	本機の底面にあるローラーの交換用部品です。

## 使用可能な用紙

高品質な印刷結果を得るために、以下のエプソン製専用紙の使用をお勧めします。  
本機で使用できる用紙は以下の通りです。（2022年5月現在）

## エプソン製専用紙

用紙名称	サイズ	セット可能枚数	自動両面印刷	フチなし印刷	ICC プロファイル
SureLab Photo Paper Gloss (250)	L判 89 x 127 mm	100	-	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperGloss.icc
	KG サイズ 102 x 152 mm	100	-	✓	
SureLab Photo Paper Luster (250)	L判 89 x 127 mm	100	-	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperLuster.icc
	KG サイズ 102 x 152 mm	100	-	✓	
SureLab Photo Paper Gloss - DS(225)	KG サイズ 102 x 152 mm	100	✓	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperGloss_DS.icc
SureLab Photo Paper Gloss - DS(190)	KG サイズ 102 x 152 mm	100	✓	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperGloss_DS.icc
SureLab Photo Paper Luster - DS(225)	KG サイズ 102 x 152 mm	100	✓	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperLuster_DS.icc
SureLab Photo Paper Luster - DS(190)	KG サイズ 102 x 152 mm	100	✓	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperLuster_DS.icc

## 市販のハガキ（日本郵便株式会社製）

ハガキの両面に印刷するときは、宛名面から先に印刷することをお勧めします。

用紙名称	サイズ	セット可能枚数	自動両面印刷	フチなし印刷*	ICC プロファイル
郵便ハガキ（インクジェット写真用）	ハガキ 100 x 148 mm	100	-	✓	Epson_SL-D500_Standard.icc
郵便ハガキ（インクジェット紙）	ハガキ 100 x 148 mm	100	-	✓	Epson_SL-D500_Standard.icc
郵便ハガキ	ハガキ 100 x 148 mm	100	-	✓	Epson_SL-D500_Standard.icc

\* 宛名面印刷時は非対応です。

## その他の市販用紙

その他の市販用紙は、本機の仕様に合った用紙をお使いください。

🔗 [「仕様一覧」26 ページ](#)

また、用紙種類を追加してからお使いください。

追加方法は『オンラインマニュアル』から『ユーザーズガイド』をご覧ください。

### ！重要

- しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのある用紙は使用しないでください。
- 本機の仕様の範囲内の用紙であれば本機にセットできますが、通紙および印刷品質を保証するものではありません。

## 光沢写真用紙

用紙名称*	サイズ	自動両面印刷	フチなし印刷	ICC プロファイル
フォトペーパー<光沢>	L判 89 x 127 mm	-	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperGloss.icc
	KG サイズ 102 x 152 mm	-	✓	

\* プリンタードライバーや本機のメニューの用紙種類設定で選択する名称

## マット写真用紙

用紙名称*	サイズ	自動両面印刷	フチなし印刷	ICC プロファイル
フォトペーパー<マット>	L判 89 x 127 mm	-	✓	Epson_SL-D500_PhotoPaperMatte.icc
	KG サイズ 102 x 152 mm	✓	✓	

\* プリンタードライバーや本機のメニューの用紙種類設定で選択する名称

# システム条件

各ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。（2022年5月現在）

対応 OS 等は、変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) をご覧ください。

## プリンタードライバー

### Windows

オペレーティングシステム	Windows 11 Windows 10/Windows 10 x64 Windows 8.1/Windows 8.1 x64
CPU	Intel Core 2 Duo 3.0 GHz 以上
空きメモリー領域	1 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	SXGA（1280×1080）以上
本機との接続方法*	USB 接続、有線または無線 LAN 接続

\* 対応する接続方法の詳細（インターフェイスの仕様）は以下を参照

 [「仕様一覧」26 ページ](#)

### Mac

オペレーティングシステム	OS X 10.9.5 Mavericks 以降
CPU	Intel Core 2 Duo 2.0 GHz 以上
主記憶メモリー	2 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	WXGA+（1440×900）以上
本機との接続方法*	USB 接続、有線または無線 LAN 接続

\* 対応する接続方法の詳細（インターフェイスの仕様）は以下を参照

 [「仕様一覧」26 ページ](#)


## メンテナンスツール

### Windows

オペレーティングシステム	Windows 11 Windows 10/Windows 10 x64 Windows 8.1/Windows 8.1 x64
CPU	Intel Core 2 Duo 3.0 GHz 以上
空きメモリー領域	1 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	SXGA（1280×1080）以上




本機との接続方法*	USB 接続、有線または無線 LAN 接続
-----------	-----------------------

\* 対応する接続方法の詳細（インターフェイスの仕様）は以下を参照  
 [「仕様一覧」26 ページ](#)

## Mac

オペレーティングシステム	OS X 10.9.5 Mavericks 以降
CPU	Intel Core 2 Duo 2.0 GHz 以上
主記憶メモリー	2 GB 以上
ハードディスク（インストール時空き容量）	2 GB 以上
ディスプレイ解像度	WXGA+（1440×900）以上
本機との接続方法*	USB 接続、有線または無線 LAN 接続

\* 対応する接続方法の詳細（インターフェイスの仕様）は以下を参照  
 [「仕様一覧」26 ページ](#)

---

## Web Config

ブラウザは最新バージョンをお使いください。

### Windows

ブラウザ	Internet Explorer 11、Microsoft Edge、Mozilla Firefox、Google Chrome
------	-------------------------------------------------------------------

### Mac

ブラウザ	Safari、Mozilla Firefox、Google Chrome
------	--------------------------------------

# 仕様一覧

基本仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	各色 180 ノズル
最高解像度	1440×720dpi
紙送り方式	フリクションフィード

## ！重要

本機は、標高 2000m 以下でお使いください。

電気関係仕様	
定格電圧	AC 100-120 V
定格周波数	50-60 Hz
定格電流	0.9 A
消費電力	動作時:約 18 W レディー時:約 3.8 W スリープモード時:約 1.4 W 電源オフ時:約 0.2 W

インターフェイス仕様	
USB ポート	Hi-Speed USB
有線 LAN 準拠規格	10BASE-T (IEEE802.3i) 100BASE-TX (IEEE802.3u) Energy Efficient Ethernet (IEEE802.3az)*1
無線 LAN	

インターフェイス仕様	
準拠規格	IEEE802.11b/g/n/a/ac
周波数帯	IEEE802.11b/g/n: 2.4GHz IEEE802.11a/n/ac: 5GHz
接続モード	インフラストラクチャー Wi-Fi Direct (シンプル AP モード) *2
無線セキュリティ	WEP (64/128bit) WPA-PSK (TKIP) WPA2-PSK (AES) WPA3-SAE (AES) WPA2-Enterprise (AES) (EAP-TLS/PEAPTLS/PEAPMSCHAPv2/EAP-TTLS) WPA3-Enterprise
ネットワーク印刷プロトコル/機能*3	EpsonNet Print (Windows) Standard TCP/IP (Windows) Bonjour (Mac) IPP 印刷 (Windows、Mac) Mopria Print (Mopria device) Chromebook ネイティブ印刷 AirPrint (iOS、Mac)
セキュリティ規格/プロトコル	SSL/TLS: HTTPS Server/Client IPPS Server SMTPS Client STARTTLS (SMTPS) IEEE802.1X IPsec/IP Filtering SNMPv3

\*1 IEEE802.3az に対応した接続機器が必要。

\*2 IEEE802.11b は非対応。

\*3 EpsonNet Print は、IPv4 のみ対応。他は IPv4 と IPv6 の両方に対応。

用紙カセット (給紙エリア) 仕様	
用紙幅	89~102 mm
用紙長さ	127~152 mm 自動両面印刷時: 148~152 mm
用紙厚	0.20~0.265 mm

用紙カセット (排紙エリア) 仕様	
容量	100 枚
用紙サイズ	定型サイズ: KG サイズ (102 x 152 mm) 以下 不定型サイズ: 幅: 89~102 mm、長さ: 127~152 mm

インク仕様	
形態	インクボトル
インク種	6 色水性染料
有効期限	製造時から 5 年

インク仕様

保存温度	梱包保存時: -20~40 °C (-20 °Cの場合 4 日以内、40 °Cの場合 1 カ月以内) 梱包輸送時: -20~60 °C (-20 °Cの場合 4 日以内、40 °Cの場合 1 カ月以内、60 °Cの場合 72 時間以内)
容量	70 ml
外形寸法	直径: 37.8 mm 高さ: 138.7 mm

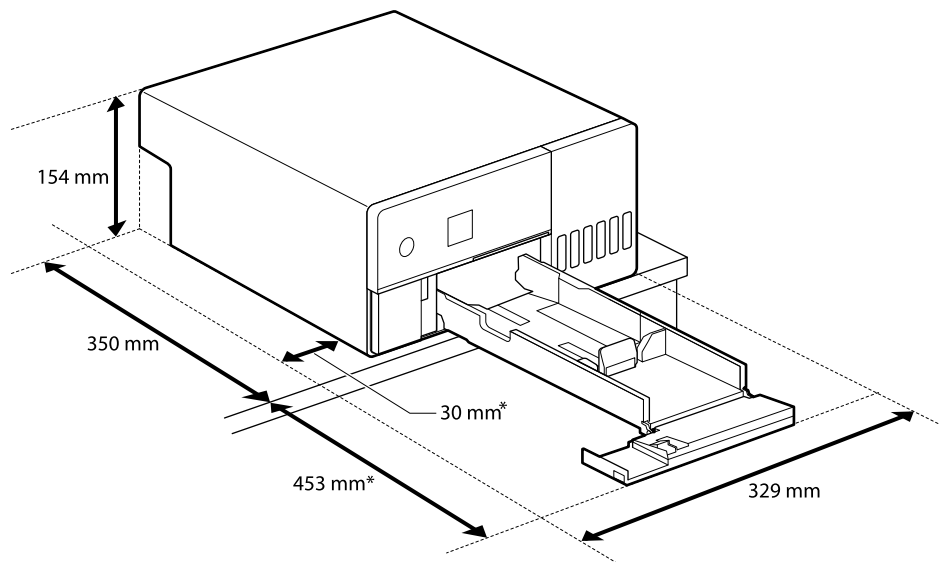
**！重要**

インクボトル中のインクは-14 °C以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 °C）で2時間以上かけて解凍してから使用してください（非結露）。

総合仕様

温度	動作時: 10~35 °C 保存時（開梱前）: -20~60 °C（60 °Cの場合 120 時間以内、40 °Cの場合 1 カ月以内） 保存時（開梱後）: -20~40 °C（40 °Cの場合 1 カ月以内）
湿度	動作時: 20~80 %（非結露） 保存時（開梱前）: 5~85 %（非結露） 保存時（開梱後）: 5~85 %（非結露）
質量	本体: 7.0 kg（インク含まず）
外形寸法	本体: 299（幅）×350（長さ）×154（高さ）mm ☞ 「必要スペース」 28 ページ

必要スペース



\* 作業時に必要なスペース

## サービス・サポートのご案内

---

### エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障がどうか分からない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 – スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 – 万トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 – ウェブサイトで必要事項を登録、またはエプソンサービスパック登録書をファクスするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 – エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

### 保守サービスのご案内

「故障かな?」と思ったときは、まず『ユーザーズガイド』の「トラブルシューティング」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

### 保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認いただき、ご提示ください。「お買い上げ年月日」「販売店名」の記載がない場合は、保証書と共に、購入の証憑（領収書、納品書等）となるものを添付のうえご提示ください。

保証書は大切に保管してください。

### 補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後7年間です。

予告なく外観や仕様、補修用性能部品および消耗品の保有期間などを変更することがあります。

### 保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター  
☎ [「お問い合わせ先」31ページ](#)

### 保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

付録

使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細は、お買い求めの販売店、エプソン修理のお申し込み窓口までお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。</li> <li>修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。</li> <li>定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。</li> </ul>	年間一定の保守料金	
	持込保守	<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。</li> <li>修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。</li> </ul>	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。</li> </ul>	有償 （出張料のみ）  修理完了後、その都度お支払いください	有償 （出張料+技術料+部品代）  修理完了後、その都度お支払いください
引取修理（ドア to ドア）		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。</li> <li>修理代金とは別に引取料金（保証期間内外とも一律）が必要です。</li> </ul>	有償 （引取料金のみ）  修理完了品をお届けしたときにお支払いください	有償 （引取料金+修理代金）  修理完了品をお届けしたときにお支払いください
持込／送付修理		<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。</li> </ul>	無償	有償 （基本料+技術料+部品代）  修理完了品をお届けしたときにお支払いください

\* 消耗品（インクボトル、メンテナンスボックス、用紙など）は保守対象外です。

**！重要**

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- インクの注入時、および保管時における、手、衣服、床等へのインク汚れには充分注意してください。なお、そのインク汚れに伴う損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

# お問い合わせ先

## ●エプソンのウェブサイト [epson.jp](http://epson.jp)

各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

## ●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)

**050-3155-8690**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

## ●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先(購入ガイドインフォメーション)

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

**050-3155-8100**

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。  
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

## ● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

[myepson.jp/](http://myepson.jp/)

▶ カンタンな質問に答えて  
会員登録。

## ●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
最新の情報はエプソンのウェブサイト([epson.jp/support](http://epson.jp/support))にてご確認ください。

**エプソン販売 株式会社** 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー

**セイコーエプソン株式会社** 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(インク2) 2022.03

## 製品に関する諸注意

### 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

### 本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

### 本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

### 液晶画面について

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

### プリンター本体の廃棄

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

### 複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。（関連法律）刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条 通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
  - 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
  - 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
  - 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること
- 次のものは、複製するにあたり注意が必要です。
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
  - パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

### 著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

### 電波障害自主規制

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A



### 瞬時電圧低下

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

### 電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

### セキュリティーに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線 LAN 製品では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティー対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

### インターネット回線への接続に関するご注意

本製品のネットワークインターフェイスは、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する際は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

セキュリティーの観点から、本製品はインターネットに直接接続せず、ルーターやファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

### 無線に関するご注意

本製品は、2.4GHz 帯の「2.400GHz～2.497GHz」まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

- DSSS/OFDM 変調方式採用
- 与干渉距離 40m

2.4 DS4/OF4/FH2
-----------------

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、販売店にご連絡頂き、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、エプソンのインフォメーションセンターまでお問合せください。

• チャンネル

IEEE802.11a/n/ac (5GHz 帯) の以下のチャンネルは、屋外での使用が禁止されています。  
W52 (CH36～CH48)、W53 (CH52～CH64)

- 本製品は Wi-Fi Alliance の承認を受けた無線機器です。他メーカーの Wi-Fi 承認済み無線機器とも通信が可能です。Wi-Fi 対応製品の詳細は Wi-Fi Alliance のウェブサイト (<http://www.wi-fi.org>) をご参照ください。

## オープンソースソフトウェアのライセンス契約について

本製品は当社が権利を有するソフトウェアの他にオープンソースソフトウェアを利用しています。  
オープンソースソフトウェアと各ライセンスの契約書全文は、以下に記載されています。

### Windows

64 bit: %ProgramFiles(x86)%¥EPSON¥SL-D500 Series¥License¥License.txt

32 bit: %ProgramFiles%¥EPSON¥SL-D500 Series¥License¥License.txt

### Linux

/usr/share/doc/epson-inkjet-printer-sld500-series/COPYING.LIB

/usr/share/doc/epson-inkjet-printer-sld500-series/COPYING.EPSON